

健康ふれあいの郷「水と緑のキッズパーク」利用者心得（幼児・児童用）

【キッズパークに入る前に】

キッズパークに入る前には、必ず事務所に「何人で今から遊びます」ということを伝えてください。また、帰るときも、「今から帰ります」ということを伝えて帰ってください。また、楽しく遊ぶためには落し物・忘れ物をなくし、ゴミは持ち帰ることを約束してください。

【キッズパークでの遊び方】

キッズパークは、公園とちがいブランコや鉄棒などの遊具はありません。みんなの好奇心を大切にし、「自分たちの想像力で工夫して、自分の責任で自由に遊ぶ」ことが一番大事なルールです。パーク内で「どんな遊びをしようか？」と考えたり、「これは危ないから注意しながらやってみよう」、「これは楽しそうだけど、今日は小さい子も多いし危ないから今度少ないときにやろう」など、自分たちで考えながら、時には怪我をすることもあるかもしれませんが、「遊び」を通して得られるさまざまな体験や大切な仲間づくりをする場所です。

【キッズパークで出来ないこと】

キッズパークでは、ドッジボールやサッカー・キャッチボールなどの校庭やグラウンドの広い場所でするようなことはできません。

キッズパークは、小さい子から小学生までが楽しく一緒に遊べる場所ですので、たとえば、サッカーボールをけて小さい子にあたったり、ボールを追いかけてぶつかって怪我をさせてしまうようなことはあらかじめ禁止していますので注意してください。出来ないことはなるべく少なくしたいので、みんなで協力して楽しく遊べる場所を作っていきましょう。

【小学4年生から6年生までのみなさんへ】

キッズパークの主役は、幼児の子どもから小学6年生までのみなさんです。特に小学4年生から6年生までのみなさんは、出来る事もたくさんあるので、そのことを下の子たちに教えてあげたり、一緒にできるようにさそってあげてください。下の子たちの見本は上級生のおにいさん・おねえさんたちですので、みんなが楽しめる遊びを作ったり、教えてあげたり、危ないときには見守ってあげたりしてください。